

十二 盆

発行日 令和 3年 9月 15日 (第 82号)
発行 土沢地域づくり会議 代表 新田繁夫
〒028-0115
花巻市東和町安俣 6区 53番地
TEL 0198-42-3255 FAX 0198-42-4234



御所野縄文公園へGO…歴史講座 世界遺産に学ぶ 豊かな暮らし

日本初の土屋根建物跡が発見された一戸町御所野遺跡が7月27日世界遺産に登録された。

早速8月7日、ツアー（歴史講座）を企画。22人が参加。縄文時代中期とされる遺跡でどんな生活を？…と思いをめぐらせ現地入り。

7.5haの広大な土地に点在するタテ穴住居には狩猟・採集・漁労で定住生活を営んでいたという確かな証があって、レベルの高い生活をしていたことに感銘。



食糧を保存したとされる堀立柱建物



意外と広い
縦穴住居の内部

5千年前、既にSDGsな生活が構築されていたこと。自然とともに豊かな暮らしをしていた縄文人に思いを馳せながら…の、ロマンあふれる歴史講座でした。

福田繁雄デザイン館も見学 風刺的なポスターやトリックアートの作品が多いグラフィックデザイナーで、参加者は右から左から作品をみて、意外な表現に感心していました。

どうやってのぼったの？
福田繁雄デザイン館にて



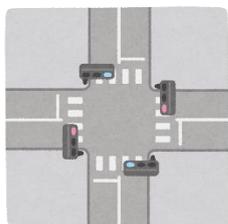
土沢地区の人口と世帯数

令和3年7月末日現在

行政区	日本人住民						外国人住民			
	世帯数	男	女	計	出生	死亡	世帯数	男	女	計
土沢第1（新地・百ノ沢）	130	184	197	381	0	0	0	0	2	2
土沢第2（鏑町）	146	150	183	333	0	1	0	0	3	3
土沢第3（中町・下町）	155	175	193	368	0	0	10	3	8	11
土沢第4（駅前・上町）	184	184	225	409	0	0	8	4	5	9
土沢第5（前郷・八日市場）	136	180	195	375	0	1	0	1	0	1
土沢第9（六本木）	257	301	353	654	0	0	5	5	1	6
合計	1,008	1,174	1,346	2,520	0	2	23	13	19	32

※この表は花巻市住民登録人口集計表を参考に作成しています。

リンリン 自転車教室 スイスイ



教振土沢支部（支部長松葉孝博氏）主催の自転車教室が7月18日（日）東和小学校校庭（特設コース）で開かれ、3年生から6年児童13人が参加しました。

暑過ぎて…大丈夫かな？…と思っていたのは大人だけで、交通指導員さんは汗だくで説明していましたが子ども達はコースに出ると風を切って…スイスイ。早速おそわったルールを守りながらペダルをこいでいました。

便利な乗り物ですが、安全運転に気をつけて…事故のないように。主催者からのお願いです。



自転車にもルールがあるんですよ…、交差点では必ず止まって確認、確認！

ふる歴コーナー 明治

コミセン内に併設されている「ふるさと歴史展示室」から東和の歴史を紹介します。
《展示パネル引用》



明治元年（1867）盛岡藩の白石転封に伴い、12月から翌2年8月まで花巻県が置かれました。江戸時代の盛岡藩領・仙台藩領は明治元年に維新政府の直轄領となり、諸藩による取り締まりが行われましたが、花巻を中心とする地域は松本藩主・戸田丹羽守にその取り締まりが命じられました。戸田丹波守は西郷庄右衛門を権知県事としてつかわし、明治2年3月に盛岡に着いた一行は取締役所を花巻に定めて支配を行いました。明治2年7月に南部利恭が盛岡復帰を許され、再び盛岡藩と称し、盛岡県・花巻県から関連事務が10月をもって引き継ぎ完了となりました。紫波郡・稗貫郡の岩手県管轄地と和賀郡の管轄地の一部がこの盛岡藩領になり、ほかの岩手県所属の村々は同年8月、江刺県の一部となりました。

明治12年（1879）に郡区町村編成法により和賀郡は東和賀郡と西和賀郡に分かれ、22年の町村制施行により、西和賀郡には2村、東和賀郡に1町15村が成立しました。この時に十二鏑村・谷内村・中内村・小山田村が成立しました。同30年には郡制が施行され、東西の和賀郡は廃され、和賀郡となりました。このとき、相去村（現北上市相去）は胆沢郡に編入されました。